



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	株式会社橋本HD新社屋レジリエンス強化型ZEB化事業	BEE	3.4	BEEランク	S	★★★★★
------	----------------------------	-----	-----	--------	---	-------

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	4.5 /5		よい
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.7 /5		ふつう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.6 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.4 /5		ふつう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	4.5	
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>①ダホリソシアヌレートフォーム+ロックウールによる外皮性能の向上</p> <p>②トップライトの採用。</p> <p>④配管や設備機器は耐久性に考慮し更新間隔を広げた。</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能</p> <p>Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備</p> <p>3.2 3.2.1 ③ 昼光制御</p> <p>Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数</p> <p>2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔</p>	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p>	<p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p>	
<p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑦外壁: ポリソシアヌレートフォーム+ロックウール、屋根: CLT+コンクリートスラブにより外皮性能を向上し熱負荷抑制</p> <p>⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。</p> <p>⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。</p>	<p>LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</p> <p>2 ⑧ 自然エネルギー利用</p> <p>3 ⑨ 設備システムの高効率化</p> <p>4 4.1 ⑩ モニタリング</p> <p>4.2 ⑩ 運用管理体制</p>	
<p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪節水便器、自動水栓により節水対策を施した。</p> <p>⑫持続可能な県産材によるCLTの採用。</p> <p>⑬有害物質を含まない仕上材の採用。</p> <p>⑬断熱材、冷媒は環境負荷の少ないものを採用した。</p>	<p>LR-2 1 1.1 ⑪ 節水</p> <p>1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無</p> <p>1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無</p> <p>2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減</p> <p>2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用</p> <p>2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</p> <p>3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用</p> <p>3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤</p> <p>3.2.2 ⑬ 断熱材</p> <p>3.2.3 ⑬ 冷媒</p>	
<p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p>	<p>LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮</p> <p>2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.7	
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>⑰災害時の避難施設とする為、機械、配管支持方法はクラス</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性</p> <p>2.1.2 ⑯ 免震・制振性能</p> <p>2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備</p> <p>2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備</p> <p>2.4.3 ⑰ 電気設備</p> <p>2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法</p> <p>2.4.5 ⑰ 通信・情報設備</p>	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.6	
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑳階高や空間にゆとりを持たせ、快適な執務空間とした。</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画</p> <p>3 3.1 3.1.1 ⑳ 階高のゆとり</p> <p>3.1.2 ㉑ 空間の形状・自由さ</p>	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)</p>	<p>Q-3 3 3.1 ㉒ 地域性への配慮、快適性の向上</p>	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.4	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</p>	<p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>2 ㉓ まちなみ景観への配慮</p> <p>3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p>	
<p>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑮国産材の使用比率が100%。</p>	<p>LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>	